

## 2017年4月改訂に伴う変更点の概要

2017年4月以降に当クリニックの検診コースをお申込みの方は、本サイトでご紹介しているコースとは一部内容が異なります。  
変更点の概要は下表のとおりです。

項目	変更内容
PET 検査の検査部位	体幹部 ⇒ 頭頂部～大腿基部 に変更
CT 検査の検査部位	胸部・腹部 ⇒ 頭頂部～大腿基部 に変更
レディースコースの検査項目	CT 検査を追加
免疫抗体検査オプション（¥8,000） 【検査項目】 風疹抗体/麻疹抗体/ムンプス抗体/水痘抗体/抗加齢ホルモン/HIV 抗原・抗体	<ul style="list-style-type: none"><li>免疫抗体検査オプションは廃止</li><li>ウィルス感染症抗体検査オプション（¥4,000）を新設 【検査項目】 風疹抗体/麻疹抗体/ムンプス抗体/水痘抗体</li><li>HIV 抗原・抗体オプション（¥4,000）を新設 【検査項目】 HIV 抗原・抗体</li></ul>
内臓脂肪測定オプションのレディースコースへの追加	不可能 ⇒ 可能

## Q.1 レディースコースにあらたに全身 CT 検査が追加されたのはどうしてですか？

A.1 CT 検査では「被ばく量が多い」ということを気にされる方が多いと思います。当クリニックでは2015年、2016年にPET/CT 装置をそれぞれ1台ずつ新規導入し、現在では4台のPET/CT 装置はすべてドイツ・シーメンス社製の最新機となりました。これにより、検診でのCT撮影の際は、一般の病院でのCT検査と異なり、「低線量モード」といって検査精度を保ちつつ、被ばく量を数分の一以下にする技術を用いて被ばく低減に最大限配慮することができるようになりました。

また、すべてのがんの中でもっとも発症数が多いとされているのは、男性なら前立腺がん、女性なら乳がんですが、死亡数では肺がんが第一位です。この肺がんについて、従来の胸部 X 線撮影に比べて胸部 CT での発見率は約10倍にもなることがわかってきています。これらのことから、40歳以上の男女では、CTによる検診が危険性より有益性が高いことがはっきりしています。

その他、全身のCT検査とPET検査を同時におこなうことによって、さまざまな部位の小さいがんの発見に大きな威力を発揮することが期待されています。がん以外の疾患の診断についてもCT撮影をおこなうメリットが大きいと判断し、標準メニューに追加することにいたしました。

## Q.2 なぜ、ウィルス感染症抗体検査オプションとHIV抗原・抗体検査オプションを分けたのですか？

A.2 今、はしかやおたふくかぜ、風疹などの小児感染症が大人にも広がっており、大きな問題になっています。かつて予防接種が任意であった時期があり、その世代の方々に多くの重大な感染症の抗体がないことが原因のひとつとされています。また、よく誤解されるのですが、「予防接種をしたら一生その病気にかからない」というのは誤りです。予防接種による血液中の抗体は10年～数十年で消えてしまい、再度同じ病原体に接触することで感染するおそれがあります。昔、「はしかは命定め」といわれたように、特に大人になってから感染するはしかはしばしば重症化してそれこそ生命を脅かしますし、妊婦さんが風疹にかかると、生まれてきたお子さんに先天性風疹症候群という重篤な障害が生じるおそれがあります。そうした意味で、あらゆる世代の方に、ご自分の血液中の主要な感染症の抗体の存在をあらかじめ知っていただき、場合によっては予防接種に結びつけていただきたいという願いからウィルス感染症抗体検査オプションを設定しています。

HIVについては、上記で説明したような小児の感染症とは経路や性質も異なり、またプライバシーに関する扱いもデリケートであることから、今回の改訂では別オプションとさせていただきます。